

物部川地域アクションプランの進捗状況等について

物 部 川 地 域 本 部

令和3年2月16日（火）

物部川地域アクションプランの進捗状況等

R3.2.16

物部川地域本部

1 地域アクションプランの令和2年度の実施状況（総括）

(1) 総評

全25項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

しかしながら、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当地域においても感染拡大防止のため、飲食業をはじめ旅館・ホテル、観光施設等で休業や営業時間の短縮等の対策をとることを余儀なくされ、幅広い分野の事業者が来客数、売上ともに甚大な影響を受けている。このため、各事業者に対し、急務である事業の継続や雇用の維持に係る支援を行うとともに、新しい生活様式を前提とした地域内の消費喚起・観光需要等の回復による地域経済の再生に向けた取り組みを進めている。

農業分野では、新型コロナウイルス感染拡大により飲食店向けの取引が減少するなどの影響が一部で見られるが、日本一の生産量を誇るニラやシシトウといった地域を代表する施設園芸作物の産地の維持・拡大に向けて、省力化機器の導入や労働力の確保、新規就農者の育成など生産基盤の充実・拡大に向けた多様な取り組みを引き続き推進している。

農産物を活用した新たな6次化の取り組みとして、ブドウの栽培からワインの生産・販売までを県内で一貫して行う、県内産ワインのブランドづくりの取り組みが進められている。

林業分野では、森林組合や林業事業者が主体となり、森の工場の拡大に向けた施業地の集約と原木の増産に向けて、間伐の推進や作業道の開設をはじめ、林業大学校と連携した担い手の確保や、高性能林業機械の導入等による生産性の向上に取り組んでいる。コロナ禍の影響への対応については、今後、関係団体と連携を密にして取り組みを進めていく。

水産分野では、香南市でシイラを中心とした水産物の販路拡大の取り組みが進められており、売上げアップを目指した衛生管理の向上や生産体制の強化とともに、県外の取引先との取引量の増大や安定的な販路拡大などに取り組んでいる。コロナ禍の影響で取引量が大幅に減少し、売上げが低調であったが、8月以降は回復基調となっており、売上げアップに向けて関係者と連携した対応が進められている。

商工業分野では、南国市が(株)海洋堂高知と連携して中心市街地の活性化に取り組んでおり、その中核となる「南国市ものづくりサポートセンター」が竣工し3月のオープンに向けて準備が進められている。

香美市では、伝統的工芸品である土佐打刃物の後継者育成を目指した「鍛冶屋創成塾」に3名の研修生が入塾し、職人としての育成に取り組んでいる。また、Iターン移住者による、地域の資源にこだわったクラフトビール製造販売においては、コロナ禍の影響で、取引量が一時減少したものの、夏期以降は前年度を上回る売り上げとなっている。今後はこれまで以上にECサイトを充実して販売の強化に取り組んでいくこととしている。

観光分野では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための休業や各種イベントの中止等に加え、観光需要の大幅な落ち込みを受け、各観光施設等において大きな打撃を被った。各事業者は事業の継続、雇用の維持に努め、秋頃から観光客は徐々に回復していたが、この冬の第3波に伴う感染拡大

大による GO TO 事業の停止や飲食店の時短営業等により、特に宿泊や外食等の事業者に大きな影響を及ぼしている。

こうした中、「(一社)物部川 DMO 協議会」が物部川地域の観光施設を対象とした衛生環境基準認証制度を整えるなど、新しい生活様式に対応し、この地域を訪れる観光客が安心、安全に観光できる場とするための取り組みを進めている。また、新たな観光需要の喚起のため、旅行商品プランを従来の募集型企画旅行から体験型観光へ変更し、個人向け体験観光のコンテンツの充実を図るなど、年間を通して観光客を誘客できる商品造成に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|---|
| <p>■No.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト (香南市、香美市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・JA 高知県 (香美地区) ◎・JA 高知県 (香美地区ニラ部会) ◎・(一社)香南市観光協会 ◎・(一社)香美市観光協会 <ul style="list-style-type: none"> ・香南市 ・香美市 ・シミズ・アグリプラス(株) <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト)</p> | <p>[指標]</p> <p>(1)ニラ販売額 (JA 入金額)</p> <p>出発点 (R 元園芸年度) : 23.3 億円</p> <p>到達目標 (R2 園芸年度) : 29.7 億円</p> <p>目 標 (R5 園芸年度) : 29.7 億円</p> <p>(2)ニラメニューの売上高</p> <p>出発点 (H30) : 81.8 万円</p> <p>到達目標 (R2) : 98.2 万円</p> <p>目 標 (R5) : 170 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)ニラ販売額(R2 園芸年度) : 23.6 億円(対前年比 : 101.3%)</p> <p>(2)ニラメニューの売上高 : 売上実績なし (R2.12 月末)</p> <p>(対前年同期比 : 0.0% (R 元.12 月末 : 84.3 万円))</p> <p>※コロナ禍の影響により、イベントへの出店がなく、売上実績なし</p> <p>○収量向上に向けた個別指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象農家 4 戸に対し、収量向上に向けた個別指導実施 (12 月末) : 76 回 <p>○品質向上に向けた実証圃の調査・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニラ抽だい (花を咲かすための花芽のついた花茎が伸びてきた状態のこと) 要因解明のための実証圃調査・検討 (12 月末) : 定植 4/17、6/10、調査 28 回 <p>⇒ニラ抽だいについて、播種や定植時期等の育苗条件による影響は少なく、株の充実および高温長日により抽だいする傾向がみられた。調査結果は生産者に周知し、抽だい要因解明について継続して検討する。</p> <p>○規模拡大農家経営の実態調査と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象農家の販売量、販売額、経費の聞き取り調査実施 (6/16) |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・作業労力、雇用費、規模拡大に必要な装備等の聞き取り調査(8/19、25) ・規模拡大農家の出荷実績調査(11/18) ⇒規模拡大時の計画と目標達成(見込み)が把握可能となり、地域の経営指標として利用できるよう、関係機関とも協力して内容を検討している。 ○産地提案書の見直しと就農PR支援 <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書や研修生受入体制の見直し、指導農業士の推薦等について、ニラ部会及び関係機関で協議 (12月末):4/14、5/21、6/17、18 ○新規就農者の経営改善支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の面談(4/1、6/25、7/16、11/20)及び個別巡回(12月末):15回 ○グリーンカレッジ活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカレッジの役員会開催時期を検討(4/8、6/11) ・役員会(7/17) ・研修会(9/29、11/30) ⇒生産部会の取り組みや部会役員との意見交換により生産組織活動への理解が深まった。また、研修会で紹介した農薬肥料一元化システムへの改善意見が出されるなど、生産管理への関心が高まった。 ○そぐりセンターの効率的稼働 <ul style="list-style-type: none"> ・外部委託農家の経費等調査(5/14・2戸) ・外部委託農家の経費等調査の検討(9/10) ・利用予定者及び地区外ニラ生産者へ出荷呼びかけ (2回・36名) ・搬入するニラの品質基準提示(7/27)及びそぐり後の品質確認(9/25) ・そぐりセンター利用組合全体会(11/30) ・そぐりセンターの雇用人数:14人(12月末) ・そぐりセンターの稼働状況:利用組合登録農家数28戸 (12月末) ○消費拡大、認知度向上の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ニラのレシピ集(小冊子)の作成(15,000部)、配布(4箇所 2,170部)(12月末時点) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化 ⇒新規就農者の受入体制の強化、規模拡大の推進 ・規模拡大農家の経営安定 |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|---|
| | ⇒販売量等のデータ収集、分析 ・搬入ニラの品質向上等によるそぐりセンターの安定稼働 ⇒搬入ニラの状況確認、品質向上のための指導を継続 |
| <p>■No.2 南国市農業生産拡大プロジェクト (南国市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA 高知県(土長地区)</p> <p>◎・JA 高知県出資農業生産法人 (株)南国スタイル</p> <p>・新規設立農業法人</p> <p>・(株)トリムエレクトリックマシナリー</p> <p>※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)</p> | <p>[指標]</p> <p>(1)シシトウ生産量 出発点 (R元園芸年度) : 606t 到達目標 (R2園芸年度) : 610t 目 標 (R5園芸年度) : 710t</p> <p>(2)ニラ生産量 出発点 (R元園芸年度) : 927t 到達目標 (R2園芸年度) : 930t 目 標 (R5園芸年度) : 970t</p> <p>(3)ピーマン類生産量(ピーマン・パプリカ) 出発点 (R元園芸年度) : 857t 到達目標 (R2園芸年度) : 860t 目 標 (R5園芸年度) : 1,030t</p> <p>(4)「還元野菜」の栽培協力農家数 出発点 (H27～R元累計) : 6戸 到達目標 (H27～R2累計) : 6戸 目 標 (H27～R5累計) : 7戸</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)シシトウ生産量 (R2 園芸年度) : 543.0t (対前年同期比 : 89.2%)</p> <p>(2)ニラ生産量 (R2 園芸年度) : 822.2t (対前年同期比 : 95.7%) ※中央出荷場のみ その他の出荷場は集計中</p> <p>(3)ピーマン類生産量 (R2 園芸年度) : ピーマン 785.7t (対前年同期比 : 104.2%) ※中央・南部出荷場のみ その他の出荷場は集計中 パプリカ 110.3t (対前年同期比 : 100%)</p> <p>(4)「還元野菜」の栽培協力農家数 (R2.12月末) : 6戸</p> <p>○シシトウ栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産部会役員、JA、市、県による農業参入に関する協議 (7月末) : 3回 ・生産部会において企業の農業参入に関する協議 農業参入の承認 R3.8月に30a、R4.8月に40aのシシトウ栽培を計画 |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・農業法人設立及び事業、栽培計画作成支援 R2. 11月に四国電力(株)子会社のAitosa(株)が設立 R2. 10～11月に計画作成支援(2回)及び現地部会対応支援(1回) ハウスは県の事業を利用し、R3. 2月に着工、同年6月に完成予定 ○ニラ栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・ニラのそぐりセンター設置に向けた取り組み状況の確認(R2. 12月末)：2回 ・ニラそぐり機利用に向け、JAと民間企業が協議を継続(R2. 12月末)：1回 ○ピーマン栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・企業、市、県による農業参入協議(7月末)：2回 R4. 8月に1ha規模でのピーマン栽培を計画 ・企業、生産者、関係機関による農業参入協議(10月末1回10名) ・南国市植田地区で農地取得準備中(R2. 12月末) ○「還元野菜」の生産拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・西島園芸団地月例会(R2. 12月末)：7回 ・イチゴ育苗管理支援(R2. 12月末)：15回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ⇒南国市役所、農業者と協議し産地提案書をR2年度版に改訂 ・シシトウ産地の維持拡大、省力化技術の確立、経営体制の強化、GAPの取り組みの推進 ⇒GAPはJA高知県と話し合いながら、点検確認を実施 ・ニラそぐりセンター設置に向けた生産部会、JAの方向性決定 ⇒生産部会、JAとの協議を実施 ・ピーマン類(「還元野菜」含む)の生産体制の強化 ⇒栽培技術や作業時間の情報収集を継続 ・「還元野菜」栽培協力農家の確保 ⇒関係機関と協力して生産者へ情報提供 |
| <p>■No. 3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化(南国市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA 高知県土長地区出資農業生産法人</p> | <p>[指標]</p> <p>(1)「還元野菜」の売上</p> <p>出発点(H30)：617万円</p> <p>直近値(R元)：638万円</p> <p>到達目標(R2)：700万円</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|---|
| <p>(株)南国スタイル</p> <p>◎・南国市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA 高知県(土長地区) ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・(一社)南国市観光協会 ・南国市内食品加工事業者 <p>※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)</p> | <p>目 標 (R5) : 1,000 万円</p> <p>(2)学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース)</p> <p>出発点 (H30) : 26.3%</p> <p>直近値 (R元) : 23%</p> <p>到達目標 (R2) : 27%</p> <p>目 標 (R5) : 27%</p> <p>(3)地域資源を活用した新商品数</p> <p>出発点 (H28~R元累計) : 13品目</p> <p>到達目標 (R2) : 4品目</p> <p>目 標 (R2~5 累計) : 12 品目</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)「還元野菜」の売上 (R2.12 月末) : 404 万円 (対前年同期比 : 80.5%)</p> <p>(2)学校給食における地元野菜の供給割合 (R2.12 月末) : 20.41%</p> <p>(3)地域資源を活用した新商品数 (R2.12 月末) : 3 品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅風良里でパプリカソースの販売 ・ネギ、パプリカを使ったディップソース <p>○「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まほろば畑に関する打ち合わせ (5/8、7/3、9/4、11/24) ・まほろば畑9月から営業再開 (10回、1,306人) <p>○「南国野菜」を使った加工品の開発・販売(地産外商)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市中小企業事業費補助金(特産品開発)への採択4件 (野菜を使ったソース、卵、ヤギ肉を使った商品、ヤギミルクの紙パック商品) ・土佐FBCのSコース受講者への支援4名(継続2名、新規2名) ・道の駅南国風良里での商品づくりワークショップ (5/12、6/9、8/4、10/7、12/3) ・南国市産パプリカを使ったソースの発売 1,982本 (9/19~1/17 累計売上) <p>○観光との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政担当者での協議 (6/8、7/8) ・南国市観光協会との協議 (6/12) ・DMO協議会との協議 (6/12) ・トリムエレクトリックマシナリーとの協議 (6/18、8/19) ・南国スタイルとの協議 (8/3) ・JA高知県との協議 (8/19) |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・西島園芸団地との協議 (8/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・還元野菜の販路拡大 ⇒生産者と(株)トリムエレクトリックマシナリーが連携したPRの実施 ・新たな加工品開発 ⇒事業者の発掘、育成 ・旅行商品の造成 ⇒協力農家の確保 |
| <p>■No.4 香美市における「物部ユズ」の総合的な産地強化対策(香美市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県(香美地区物部柚子生産部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知県(香美地区) ・香美市 ・農地中間管理機構(高知県農業公社) ・NPO法人いなかみ | <p>[指標]</p> <p>(1)ユズ販売金額 出発点(H28～R元園年度の平均値):4.9億円 到達目標(R2園芸年度):4.9億円 目 標(R2～5園芸年度の平均値):5.0億円</p> <p>(2)青果ユズ出荷量 出発点(H28～R元園年度の平均値):760t 到達目標(R2園芸年度):745t 目 標(R2～5園芸年度の平均値):770t</p> <p>※計画策定時にR2園芸年度の速報値等により指標及び目標を算出していたため修正</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)ユズ販売金額(H29～R2園芸年度の平均値): 4.8億円(対前年同期比:97.8%)</p> <p>(2)青果ユズ出荷量(H29～R2園芸年度の平均値): 750t(対前年同期比:98.9%)</p> <p>○担い手の確保・育成、受入体制の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の計画策定支援 新たに親元で1名(16a)、兼業で1名(15a)、定年帰農で1名(10a)の計3名が開始、また研修生1名を確保 ・新規就農者3戸の営農状況の確認と個別指導 (1月末):延べ39回 ・新型コロナ対策関連の事業説明会の開催 (部会員10名参加) 高収益作物次期作支援交付金への申請(10名) ・産地提案書の改訂 部会委員会と産地協議会で提案内容が了承(9月) <p>○流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬至玉出荷予測方法の検討 |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|--|
| | <p>冬至玉調査票の配布及び回収 (11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集出荷場の整備計画の検討 (7月、8月、10月) 全面改修は断念し、パソコン更新に限定(事業は未利用) ・冬至玉出荷作業に係るカイゼンマイスターとの協議・実施 (6月、12月) : 2回 ・地理的表示 (GI) 保護制度活用による訴求力向上 高知県農産品で初の地理的表示 (GI) に登録 (6/29) 市場は商談を有利に進める材料として GI を評価 (8/21) GI 表示で販売を開始 (9月～) <p>○生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果生産量の確保 栽培技術等を記載したユズ便りの発行・全戸配布 (12月末まで) : 6回 収穫期の労働力確保のための工科大生ボランティア活用 (収穫体験学習 11月) : 4回、学生 10人参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手対策 ⇒産地提案書(改訂)の発信及び動画版の検討 ・流通、販売上の対策 ⇒調査票と AI 等を活用した出荷予測精度の検証 ⇒冬至玉出荷作業のカイゼン事項の選択 ⇒GI を活用した PR 活動 ・生産性向上対策 ⇒青果率向上のための技術指導 |
| <p>■No.5 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)なの工房 ◎・畑の食堂C o p a n ・JA 高知県 (土長地区長岡支所) | <p>[指標]</p> <p>直販所等の売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1億2,857万円 直近値 (R元) : 1億1,536万円 到達目標 (R2) : 1億3,740万円 目 標 (R5) : 1億3,740万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>直販所等の売上高 (R2.12月末) : 8,533万円 (対前年同期比 : 95.7%)</p> <p>○組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者によるヒアリング (7/2) ・書面議決による(株)なの工房株主総会の開催 (11/26) |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・チーフ会開催 (7/29、8/25、9/25、10/28、12/16) <p>○来客増に向けた取り組み</p> <p>(なの工房)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS での旬の商品の紹介 (12 月末) : 58 回 ・Go to 農林水産物直販所キャンペーンに参加 (客単価の増 R 元 : 907 円⇒R2 : 984 円) ・南国市直販所スタンプラリーに参加 (11~1 月) <p>(畑の食堂 Copan)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旬の農産物を使ったメニューの提供 (トウモロコシの冷製ポタージュ、ヤングコーンのアン チョコビソテー、冷製トマトのポタージュ) ・SNS を活用した情報発信 (12 月末) : 499 回 ・6 次産業化セミナーアップグレードコース受講 (5/19、 8/31、9/16) ・ディップソース、ミールセットの商品化及び通販サイト 等での販売 (11/3~) ・にっぽんの宝物グランプリ (1 月) グランプリ受賞 : 畑のディップソース <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(なの工房)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷品目の充実 ⇒生産者への呼びかけを行う ・経営の安定化 ⇒産振アドバイザーを導入 (R2 年度中) するとともに、引 き続き随時税理士と相談しながら経営の安定化を図る <p>(畑の食堂 Copan)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため減少した売上げの回復 ⇒SNS での積極的な情報発信、オンラインショップの宣伝 ・新メニュー、テイクアウト商品の開発 ⇒旬の食材を使ったメニューの提供 ・加工品の開発と販路開拓 ⇒販路を含めた戦略の構築 |
| <p>■No. 6 南国市の農園レストランによる地域 食材の消費拡大 (南国市) 《実施主体》 ◎・(株)ナイフアンドフォークカンパニー (農園レストラン トリトン)</p> | <p>[指標]</p> <p>(1) 売上高 出発点 (H30. 10~R元. 9) : 1億7,357万円 到達目標 (R元. 10~R2. 9) : 2億50万円 目 標 (R4. 10~R5. 9) : 2 億 50 万円</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|--|
| | <p>(2) 食材の地産地消率 出発点 (H30.10～R元.9) : 85% 到達目標 (R元.10～R2.9) : 85% 目 標 (R4.10～R5.9) : 85%</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R元.10～R2.9) : 1億3,086万円 (対前年同期比 : 75.4%) ※コロナ禍の影響による売上の減</p> <p>(2) 食材の地産地消率 (R元.10～R2.9) : 85.0% (対前年同期比 : ±0%)</p> <p>○地元食材を活用したメニューの開発 ・高知県産食材活用したメニュー開発 ・新作のパンを毎月販売</p> <p>○メディア等によるPR活動、来客数増加のための取り組み ・「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」への掲載 ・テレビ番組のロケ地としての活用 ・高知家のおいしい食材「食べて応援キャンペーン」参加 ・GoTo トラベル事業の地域共通クーポン利用開始 (10月) ・Go To Eat キャンペーン食事券利用開始 (11月) ・南国市プレミアム商品券利用開始(12月)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・コロナ禍による来店者・売上の減 ⇒継続した新商品開発や効果的なPR活動</p> |
| <p>■No.7 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・企業組合ごめんシャモ研究会 ・南国市商工会 ・南国市</p> <p>※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)</p> | <p>[指標]</p> <p>(1) 売上高 出発点 (H30) : 5,178万円 直近値 (R元) : 5,016万円 到達目標 (R2) : 2,800万円 目 標 (R5) : 6,000万円</p> <p>(2) 飼育羽数 出発点 (H30) : 2,341羽 直近値 (R元) : 2,063羽 到達目標 (R2) : 2,500羽 目 標 (R5) : 3,000羽</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R2. 12 月末) : 1,981 万円 (対前年同期比 : 49.3%)</p> <p>※コロナ禍の影響による売上の減</p> <p>(2) 飼育羽数 (R2. 12 月末) : 1,466 羽 (対前年同期比 : 85.4%)</p> <p>○ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 高知農業高校と連携した孵卵 (12 月末) : 70% <p>○加工品開発及びご当地グルメとしての確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品開発 シャモ肉を使ったメニューを試作し、直営店である軍鶏伝で提供 (クリームコロッケ、燻製、ササミスティック等) ・ギフトやふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」、サニーマートのお中元ギフトへ掲載 ・ギフト販売実績 (12 月末) : 1,020 セット (うち、ふるさと納税実績 : 45 セット) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食鳥加工センター南国の休止 (5 月～再開時期未定) ⇒食肉加工を外注することとなったが、外注先が県版 HACCP の認証を未取得であるため、今後、認証取得を呼びかけていく。 ・コロナ禍による売上の減少 ⇒新商品開発や飲食店以外への販売促進 |
| <p>■No. 8 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 (南国市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・川添ヤギ牧場</p> | <p>[指標]</p> <p>ヤギミルク、ヤギ肉の売上高</p> <p>出発点 (H30) : 591万円</p> <p>直近値 (R元) : 2,308万円</p> <p>到達目標 (R2) : 3,000万円</p> <p>目 標 (R5) : 4,380 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>ヤギミルク、ヤギ肉の売上高 (R2. 11 月末) : 2,664 万円 (対前年同期比 : 127.3%)</p> <p>※ヤギ飼育頭数の増加によるミルクの生産量及び売上の増 (内訳) ヤギミルク (飲用) : 2,199 万円</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <p>ヤギミルク (加工用) : 243 万円 ヤギ肉 : 222 万円</p> <p>○飼育ヤギ頭数 (12 月末) : 350 頭 (対前年同期末比 : 200%)</p> <p>○ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大に伴う新規雇用 (正規) 1 名 (4 月) ・ヤギの頭数増加、ヤギ肉の生産強化に伴う新畜舎建設の検討 ・新畜舎の検討会 (6/3)、候補地視察 (6/8)、改修開始 (12 月)、飼育予定(2 月) <p>○販路開拓及び加工品の開発販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外へ向けた販売促進 ひまわり乳業と販売計画について協議 (6 月) パッケージリニューアル (ビン⇒紙パック) (8 月～) →出荷量の増加 ・新商品の開発 ヤギソーセージ・サラミの試験的販売 (R2 年秋～) ・産業振興アドバイザー制度 (課題解決型) の活用による販売戦略の作成支援 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギミルク販売事業者の在庫が増加しており販路拡大が必要 ⇒実施主体自ら商品の PR、営業活動に取り組む ・加工品の開発 ⇒脱骨・加工をセットで行える OEM 先の検討 |
| <p>■No.9 物部川地域の民有林における原木の増産 (物部川地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・香美森林組合 ◎・物部森林組合 ◎・林業事業体等 | <p>[指標]</p> <p>原木生産量</p> <p>出発点 (H30) : 50,678 m³ 直近値 (R元) : 54,138 m³ 目 標 (R5) : 56,880 m³</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>原木生産量 (R2.12 月末) : 33,209 m³ (対前年同期比 : 82.5%)</p> <p>○森の工場の維持、拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の面積拡大 4 団地、791ha ・森林 GIS による意向調査及び事業地の掘り起こし |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|---|
| | <p>○生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能林業機械導入計画支援 <p>○担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境税を活用した担い手対策支援 2 森林組合、13 人分 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上 ⇒高性能林業機械の計画的な導入 |
| <p>■No. 10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大(香南市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・高知県漁業協同組合手結支所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市 ・(一社)香南市観光協会 | <p>[指標]</p> <p>水産品の販売額</p> <p>出発点(H28~30平均): 4,939万円</p> <p>直近値(R元): 4,894万円</p> <p>到達目標(R2): 5,100万円</p> <p>目 標(R5): 5,400万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>水産品の販売額(R2.12月末): 3,755万円 (対前年同期比: 80.5%)</p> <p>○販売事業の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路維持及び拡大に向けた営業活動 地元の給食センターへ食材を販売(12月末): 17回 「とさのさと」で鮮魚類を販売(12月末): 16回 卸売業者との取引を開始 <p>○販売形態の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次加工による商品ラインナップ拡充対策 取扱量の維持に向けて、食品流通業者へシイラの一次加工品(冷凍フィレ)を納入するため、職員が加工(フィレ加工)を実施 ・漁業者の売り先と売上を確保するため、シイラ以外の魚種の販売を拡張 <p>○認知度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元におけるPR体制づくり(コロナ禍の影響により未実施) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による外食業の停滞や取引先の仕入れの分散等の影響により、大口取引先との取引量が大幅に減少し、売上が |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <p>低調となっている。</p> <p>⇒全国的な相場に左右されにくい産地相場力の強化</p> <p>⇒販売額の向上と安定化に向けた取引先との関係強化</p> <p>⇒地元における認知度向上</p> |
| <p>■No. 11 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進(南国市、香南市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・井上ワイナリー(株)</p> <p>・井上石灰工業(株)</p> <p>・南国市</p> <p>・香南市</p> | <p>[指標]</p> <p>商品売上高</p> <p>出発点(H30): 1,057万円</p> <p>直近値(R元): 681.4万円</p> <p>到達目標(R2): 1,573万円</p> <p>目 標(R5): 5,912万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>商品売上高(R2.12月末): 1,019.5万円 (対前年同期比: 174.3%)</p> <p>※9月に行った新作ワインとオードブルのセット販売(180セット)が好評を得たため</p> <p>○栽培面積の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブドウ栽培圃場の確保: 132アール (南国市、香南市、香美市、梶原町、佐川町) ・臨時雇用(2回実施 5月4名、8月10名) <p>※コロナ禍の影響で一時営業を停止した飲食店事業者をアルバイトとして臨時雇用したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブドウ収量(4,072kg) ※うち会員用圃場の収量720kg ・ワイン醸造本数(5,130本) <p>○醸造・生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎工事の完了(4~7月) ・建物の建設工事(7月~) ※2/中旬竣工予定 ・醸造免許の取得に向け税務署との協議(4月~) ・醸造開始(8月下旬~、山梨県・島根県) <p>○他の事業者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新作ワインとオードブルセットの販売(180セット) ・グロスリー商品の開発(4~6月、5品) ・ECサイト立ち上げ準備(4/1オープン予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によりイベントへの出店や会員向けの新酒発表パーティーが中止となったため、認知度向上のための広告宣伝が十分に行えていない <p>⇒ウェブでの飲み会イベントの開催</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大 ⇒さらなる圃場の確保(市町村との連携) ※来期は山北圃場を更に40アール増やす予定 ・専門人材の育成 ⇒ワイン醸造技術の習得 ・知名度の向上 ⇒広報の充実(メディアへの周知、空港等へ広告展開等) |
| <p>■No.12 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地活性化プロジェクト(南国市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・南国市 ◎・南国市商工会 ◎・(株)海洋堂高知 <ul style="list-style-type: none"> ・(株)奇想天外 ・南国市中心市街地振興協議会 | <p>【指標】</p> <p>(1)エリア内の売上高 出発点(H30):6億800万円 到達目標(R2):— 目 標(R5):7億6,199万円</p> <p>(2)新規出店数 出発点(H30):0件 到達目標(R2):3件 目 標(R5):12件</p> <p>(3)拠点施設の入場者数 出発点(H30):0人 到達目標(R2):— 目 標(R5):33,000人</p> <p>【取り組み状況】</p> <p>(1)エリア内の売上高(R2.12月末):調査中</p> <p>(2)新規出店数:0件</p> <p>(3)拠点施設の入場者数:—</p> <p>○中心市街地の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興計画策定に向けたWS開催(7月) ・中心市街地振興計画策定(9月) ・WS参加者への説明会(10月) ・飲食店スタンプラリーの実施(R3.3月開始予定) <p>○各種イベントの開催や空き店舗の活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ事業について商工会と協議(6月～) ・シン・イベント実行委員会設立(7月) ・空き店舗調査の開始(9月) <p>○拠点施設の整備・運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の公募(7月)、選定(8月)、決定(9月) ・開館式典、オープニングイベント等の実施者公募(11月)→委託業者の決定 ・施設の愛称募集(12/7) |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|--|
| | <p>・施設の竣工(12/22)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・中心市街地活性化に向けた仕組みづくり ⇒ものづくりサポートセンターに来場する観光客を中心市街地に誘導する仕組みの構築 ⇒中心市街地振興計画の進捗管理</p> |
| <p>■No.13 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進(香南市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)ヤ・シィ ・香南市</p> | <p>[指標]</p> <p>(1)加工所兼店舗の売上高 出発点(H30):2,687万円 直近値(R元):2,655万円 到達目標(R2):5,461万円 目 標(R5):5,587万円</p> <p>(2)「道の駅やす」入込客数 出発点(R元):28.6万人 到達目標(R2):28.9万人 目 標(R5):29.8万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)加工所兼店舗の売上高(R2.11月末):1,443.9万円 (対前年同期比:69.7%)</p> <p>※コロナ禍の影響による売上の減</p> <p>(2)「道の駅やす」入込客数(R2.12月末):26.9万人 (対前年同期比:93.8%)</p> <p>○売上アップに向けた取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 スイーツ2商品(5月、11月～) ランチ7商品(うち3商品は期間限定)(8月、10月～) <p><市事業>香南市産業振興計画推進補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 長太郎貝を使った炊き込みごはんの開発開始(7月) 沖縄県八重瀬町とのコラボ企画で期間限定メニュー2商品の提供(7月下旬～8月上旬) <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの出店・出品 観光コンベンション協会こうちアイスクーポンへ参加(ヤ・シィフルーツ) TSUNAGUマーケット(イオンモール高知)へ出店(7/4、7/5) ・ヤ・シィらんどへの出店(10/17～18) ・ふるさとまつりへの出品(観光協会)(11/15) |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・香南ケーブルテレビによる宣伝 (6/1~30) ・ほっとこうち 10月号への掲載 ・商談会への出展 <ul style="list-style-type: none"> まるごと高知との商談 (6/30) 高知県産品商談会 (10/27、11/25) ・新規成約 <ul style="list-style-type: none"> ミニストップ(株) (カタログ：夏ギフトに採用) (株)ハツトリー (宮崎県、小売) ※取引再開 (株)マルシメ (秋田県：小売) マックスバリュ東海 (静岡県：WEB 販売) (株) ARAN (愛知県：卸販売) (株) TBS グロウディア (東京都：EC サイト・カタログ) ・ HACCP への対応 <ul style="list-style-type: none"> 県版 HACCP 認証に向けた書類作成講習会参加 (9/16) <p>○ヤ・シィパークを核とした地域の活性化の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ヤ・シィ、県、市の3者協議を実施 (6/16) ・(株)ヤ・シィと土木事務所とのR2発注関係(突堤、ボードウォーク等)の協議 (4/13、8/28) ・第8回ヤ・シィパーク活性化推進協議会(R2年度1回目)の開催 (12/23) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[加工場兼店舗 (mana*mana)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により大幅減となった売上のアップ <ul style="list-style-type: none"> ⇒外販の強化及び衛生管理体制の強化(高知県版 HACCP 第3ステージの認証取得) <p>[ヤ・シィパーク全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤ・シィパークの拠点化に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒ヤ・シィパーク整備方針に係る関係機関との協議及び検討 |
| <p>■No. 14 香南市における特産品づくりと販売の促進(香南市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)香南市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市内の事業者 ・香南市 | <p>[指標]</p> <p>特産品の売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1億1,975万円</p> <p>直近値 (R元) : 1億4,550万円</p> <p>到達目標 (R2) : 1億940万円</p> <p>目 標 (R5) : 1億2,500万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>特産品の売上高 (R2. 12月末) : 1億2,866万円</p> <p style="text-align: right;">(対前年同期比 : 144.9%)</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <p>※コロナ禍の影響による巣ごもり需要の増</p> <p>○地場製品の開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市ギフトカタログへの参加事業者、新商品増加への取り組み(新規参加事業者13社、新商品44) <p>○地場製品のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでの特産品のPR <ul style="list-style-type: none"> 日曜市(7月) ヤ・シィらんど(10月) ふるさとまつり(11月) 高知新港への客船飛鳥寄港(11月) ふるさとチョイス大感謝祭オンライン(11月:ふるさと納税関係) ・香南市ギフトカタログ(20-21)、ふるさと納税カタログの発行 ・ふるさと応援寄附金特設サイト掲載PR動画作成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品(カタログ商品)の認知度向上 ⇒広報の強化 |
| <p>■No.15 野市町中心商店街の振興(香南市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・香南市 ◎・香南市商工会 | <p>[指標]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点(H30):0件 到達目標(R2):2件 目 標(R5):8件 <p>[取り組み状況]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業数(R2.12月末):0件</p> <p>○運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街振興協議会設置に向けた香南市、県の打合せ(7/14) ・協議会立ち上げに向けた香南市、商工会の協議(12/11) <p>⇒市産業振興推進商業部会を協議会として位置付け WGは商工会役員改選後のR3.5月以降に立ち上げ予定</p> <p><市事業>プレミアム商品券事業(7月～) 香南市内約250店舗が対象。うち34店舗が旧商店街エリアに該当。</p> <p><市事業>・香南カーニバル事業(7月～)</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <p>香南市内約 80 店舗の飲食店、タクシー、代行業者が対象。うち 22 店舗が旧商店街エリアに該当。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗の活用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 空き店舗情報の把握と関係者間での共有 ⇒ 空き店舗補助金の活用による創業の促進 ⇒ 空き店舗情報の発信（市内外への PR） ⇒ 新規創業希望者へのサポート体制の確立 ・ 運営体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ WG のメンバー選定 |
| <p>■ No. 16 香美市における特産品づくりと販売の促進（香美市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎ ・（一社）香美市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香美市内の事業者 ・ 香美市 | <p>[指標]</p> <p>(1) 特産品の売上高 出発点（H30）：6,380万円（H21～H30までの平均値） 直近値（R元）：6,380万円 到達目標（R2）：6,690万円 目 標（R5）：7,600万円</p> <p>(2) 取扱商品数 出発点（H30）：194品目 直近値（R元）：194品目 到達目標（R2）：196品目 目 標（R5）：200品目</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 特産品の売上高（R2.12月末）：2,256万円 （対前年同期比：65%）</p> <p>※ふるさと納税返礼品の募集費用が嵩んでおり、今年度は寄付額を見直しをせざるを得なかった。各返礼品の単価アップに伴い、寄附の申込が減少したため</p> <p>(2) 取扱商品数（R2.12月末）：217品目</p> <p>○特産品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6次産業化支援チームによる専門家派遣 ・ 新商品（巻きかるかん）の販売 ・ 新商品（ゆず味噌、しょうが味噌、大葉とゆずのシロップ）のテスト販売 <p>○販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ れんけいこうち事業の日曜日への出展（4回）（12月末） ・ ジビエマルシェへの出店（6月） ・ テイクアウトフェスタへの出店（10月） |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・集マルシェでのテスト販売 (10月) ・金高堂書店前での販売会の実施 (11月、12月) <p>○経営安定化・後継者育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP研修への参加(9月、10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の販路拡大 <p>⇒商談会、見本市への出店、広報の強化</p> |
| <p>■No. 17 香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興(香美市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・高知県土佐打刃物連合協同組合</p> <p>◎・フラフ製造業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商工会 ・(一社)香美市観光協会 ・香美市 | <p>[指標]</p> <p>(1) 創生塾入塾者数</p> <p style="padding-left: 20px;">出発点 (R元) : 3名</p> <p style="padding-left: 20px;">到達目標 (R2) : 3名</p> <p style="padding-left: 20px;">目 標 (R2~5累計) : 9名</p> <p>(2) 新規就業者数</p> <p style="padding-left: 20px;">出発点 (R元) : 0名</p> <p style="padding-left: 20px;">到達目標 (R2) : 0名</p> <p style="padding-left: 20px;">目 標 (R2~5累計) : 4名</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 創生塾入塾者数 (R2.12月末) : 3名</p> <p>(2) 新規就業者数 (R2.12月末) : 0名</p> <p>○人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍛冶屋創生塾塾生によるインターン (4/1~24、3社) ・インターンシップの成果確認 (5/18~5/29) ・自主研修(鎌の製造 5/5、5/7) ・片刃包丁の鍛造・整形 (6/22~26) ・鍛冶屋創生塾運営委員会開催 (5/28) ・第2期生の募集開始 (11/2~1/29) ・鍛冶屋創生塾への支援 <p><国事業></p> <p style="padding-left: 20px;">伝統的工芸品産業支援補助金(若年層等後継者創出育成事業)</p> <p style="padding-left: 20px;">国補助金額 : 2,448千円(補助率2/3)</p> <p style="padding-left: 40px;">(県、市の負担 県 : 612千円、市 : 612千円)</p> <p><県、市事業></p> <p style="padding-left: 20px;">伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金</p> <p style="padding-left: 20px;">県、市補助金額 11,867千円</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|--|
| | <p>○伝統工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上</p> <p><フラフ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各所でのフラフの掲揚(4~5月) ・情報誌こじゃんと5月号への掲載(表紙及び巻頭特集) ・ものづくり総合技術展での展示 8点(11月) ・産業振興センターで常設展示 1点(11月~) ・高知龍馬空港2Fロビーにてフラフを展示(12月~) <p><土佐打刃物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品取り扱いによる販売促進 刃物:454件、商品代5,980千円(4~12月) ・県立施設等による販売(歴史民俗資料館) 刃物2本、5,000円(4~9月) ※歴史民俗資料館・9月から3月頃まで休館 ・観光協会のインターネット販売 刃物57本、売上げ125千円(4~12月) ・高知龍馬空港2Fロビーにて鍛冶屋創生塾の塾生の研修作品や土佐打刃物の展示(8~10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍛冶屋創生塾卒業生の就労先や研鑽の場の確保 ⇒土佐刃物協同組合を中心に、卒業生の就労先や研鑽の場の確保 ・フラフを活用した新商品の開発 ⇒他業者とのコラボによる新商品開発への取り組み ・土佐打刃物及びフラフの新たな販路開拓 ⇒販売先の確保や販路開拓を進めるため、県内外の展示会や商談会への出展 |
| <p>■No.18 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化(香美市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・えびす街協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商工会 ・香美市 | <p>[指標]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業数</p> <p>出発点(H30):3件</p> <p>直近値(R元):4件</p> <p>到達目標(R2):4件</p> <p>目標(R2~5累計):16件</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業数(R2.12月末):5件</p> <p>○商店街を含む地域の活性化策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗調査(3日/週) 貸出可能な空き店舗5件(12月末) |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商店街等振興計画推進事業費補助金(チャレンジショップ事業) 補助金額:5,600千円(うち2,800千円は県費) ・チャレンジャーへの経営指導、アドバイス(商工会) ・チャレンジショップ運営委員会の開催 (8回 1月末時点) ・SNSによる情報発信(チャレンジャー情報) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ卒業後の市内での開業 ⇒香美市内での開業に向けた物件探しを支援 |
| <p>■No.19 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売(香美市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(同)高知カンパニーニューブルワリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商工会 ・香美市 | <p>[指標]</p> <p>クラフトビールの売上高</p> <p>出発点(H30):1,805万円</p> <p>直近値(R元):2,920万円</p> <p>到達目標(R2):2,500万円</p> <p>目 標(R5):4,100万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>クラフトビールの売上高(R2.11月末) :3,349万円(対前年同期比:131%)</p> <p>※コロナ禍の影響により、インターネットサイトを通じた個人への売上げが増加。また、地域限定商品や期間限定商品を戦略的に発表することで、新規顧客の獲得につながったため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けた設備投資の検討 ○積極的な地産外商の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発(5件) 地域限定商品 3品 期間限定商品 2品 ・戦略的なPR、ECサイトの強化、ブランドの確立 ・大阪事務所の紹介でダブルドアーズのフェアに参加(7/22) ・大阪 阪急百貨店プラットフォームフェアに参加(11月) ・ロコの星インターネット販売参加(全国10地方TV局連携事業) |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|--|---|
| | <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の移転先の確保 ⇒市、商工会等と連携した情報提供 ・生産体制強化 ⇒各支援策の紹介 |
| <p>■No. 20 物部川地域における広域観光の推進(物部川地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)物部川DMO協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)香南市観光協会 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)ものべみらい ・観光事業者 | <p>[指標]</p> <p>主要観光施設入込数(9施設)</p> <p>出発点(H30):70.7万人</p> <p>到達目標(R2):77.7万人</p> <p>目標(R5):89.8万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>主要観光施設入込数(9施設)(R2.10月末) :14.2万人(対前年同期比:29.3%)</p> <p>※コロナ禍の影響による入込数の減</p> <p>※主要観光施設(9施設)</p> <p>西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、県立のいち動物公園、創造広場「アクトランド」、絵金蔵、アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート</p> <p>○広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局次長職及び一般職を公募し、8/1採用 ・観光動向・満足度調査の実施 主要物販施設でのアンケート調査(7/23~7/26) エリア内観光関係施設等でのアンケート調査(8/1~) ・(一社)物部川DMO協議会理事会(4/9、5/7、6/10、9/14、10/26、11/20) ・(一社)物部川DMO協議会定時社員総会(6/29(書面決議)) ・物部川流域3市におけるトップ意見交換会(9/29) ・観光地域づくり塾を通じた滞在型観光プランの作成 集合研修:7/21、8/7、8/17、8/18 分科会:11/16、12/25 <p>○観光商品の充実・観光客の広域誘致(物部川DMO協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS登録者に対するプレゼント企画の実施 5/18~6/14までの間、338件の登録 ・ポスターの配布(9/2~) ・6次化事業(商品開発) (株)ものべみらいとの共同企画として、地域の特産品を 県外販売できるよう商品のリパッケージ、県外販路の構 |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|--|
| | <p>築及び販売(9/11～販売) 売上：958,487円 引き続き事業を継続し販路拡大を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ収穫体験モニターツアーの実施(11月) ・誘客多角化等のための魅力的な滞在型コンテンツ造成実証事業を通じたバリアフリー観光拠点設置事業への取り組み(11月～) <p>○地域連携による周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾への参加(7月～) 受講生による商品造成販売数：2件 ・ものべSSS認証制度の制定(11/24認証式) 認証団体数は14団体(R2.12末時点) 衛生管理への意識が高まるとともに、施設側との衛生管理の実施状況や運用等を意見交換する機会が増えた ・ものがわフェスタの開催 オンラインクイズ大会(10/11)及びガチャ祭り(11/1～11/30)の実施 <p>○物部川地域の観光に携わる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による観光プログラム造成のための勉強会の実施(9/7～9/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続的な広域観光の推進 ⇒物部川地域3市の行政機関、関係機関が役割分担の明確化を図り協働することによる連携体制の整備及び運用 ⇒関係部署との情報共有等によるPR |
| <p>■No.21 南国市の地域資源を活用した観光の推進(南国市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)南国市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ | <p>[指標]</p> <p>(1) 主要観光施設入込数 出発点(H30)：46.9万人 直近値(R元)：46.4万人 到達目標(R2)：50.8万人 目 標(R5)：55.0万人</p> <p>※主要観光施設(3→4施設) 西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、道の駅風良里(R3～ものづくりサポートセンターを加え4施設)</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 主要観光施設入込数(R2.12月末)：29.2万人 (対前年同期比：58.4%)</p> <p>※コロナ禍の影響による入込数の減</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|--|
| | <p>※R2.9.7～耐震工事のため高知県立歴史民俗資料館休館中</p> <p>○観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会による情報発信 ・土佐の七雄スタンプラリーの実施 ・長宗我部元親 RALLY10 の実施 ・観光施設連絡会の設立(12月) ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型)を活用した西島園芸団地への支援 <p>○観光協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の確保 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光関連事業者と連携した旅行商品の造成 ⇒観光施設連絡会を通じた情報共有と観光素材の磨き上げ |
| <p>■No.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進(香南市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)香南市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市 ・地域の体験メニュー等提供団体 | <p>[指標]</p> <p>(1) 主要観光施設入込数</p> <p>出発点(H30):106.0万人 直近値(R元):104.5万人 到達目標(R2):107.0万人 目 標(R5):117.0万人</p> <p>※主要観光施設(10施設)</p> <p>県立のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シィパーク、絵金蔵、天然色劇場、やすらぎ市、あぐりのさと、黒潮温泉、創造広場「アクトランド」、土佐カントリークラブ</p> <p>(2) 参加人数(スポーツ・体験観光)</p> <p>出発点(H30):181人 直近値(R元):188人 到達目標(R2):500人 目 標(R5):960人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 主要観光施設入込数(R2.12月末暫定値):89.6万人 (対前年同期比:85.7%)</p> <p>(2) 参加人数(スポーツ・体験観光、R2.12月末):48人 (対前年同期比:70.6%)</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止のため4～7月のイベント開催を断念したため、参加人数が減った。</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|--|
| | <p>○旅行商品の造成と販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐塩の道トレイルランニング開催 (206人エントリー、182人出走、171人完走) ・香南市観光施設連絡協議会の開催(1回 8/26) <p>○地域の観光情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会による各種イベント等の情報発信 <p>○スポーツ・体験観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市観光協会・(株)WICKS・マゼクルの三者間の協定締結(7/2) ・香南カフェライドの実施 (8/8、10/24、11/14の3回実施 計28人参加) ・タンデム講習会の開催(10/18 21人参加) ・サイクルトレインポタリングの開催(10/22 22人参加) ・Fun ride 塩の道Konanの開催(11/23 12人参加) ・ヤ・シィパーク西側自転車道の開通(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニュー等の旅行商品の企画・販売 ⇒観光施設関係者による観光素材の磨き上げと商品化 ・コロナ禍でのイベントの開催及び集客に必要なノウハウの習得 |
| <p>■No.23 三宝山エリアにおける観光拠点化の推進(香南市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・民間事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市 | <p>[指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> － (検討状況を踏まえて決定) <p>[取り組み状況]</p> <p>○施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発予定民間事業者による事業構想の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細な事業計画の策定と各種許認可手続き ⇒進捗上に応じて県・市による情報提供 |
| <p>■No.24 香美市における滞在型・体験型観光の推進(香美市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)香美市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・(株)香北ふるさとみらい ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 | <p>[指標]</p> <p>主要観光施設入込数</p> <p>出発点(H30):28.5万人 直近値(R元):29.3万人 目 標(R5):30.0万人</p> <p>※主要観光施設(4施設)</p> <p>アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ狭温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート</p> |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|---|---|
| | <p>[取り組み状況]</p> <p>主要観光施設入込数 (R2.11月末) : 15.6万人 (対前年同期比 : 56.8%)</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止のため、各施設で休業した期間があったため入込客数が減となった。</p> <p>○体験型観光メニューづくりと推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍河洞冒険王、龍河洞ナイト等の開催 ・土佐塩の道トレイルランニング開催 ・香南市観光施設連絡協議会の開催 <p>○観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイド養成研修の開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニュー等の旅行商品の企画・販売 <p>⇒観光ガイド養成後のまちあるき観光の商品化</p> |
| <p>■No.25 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進(香美市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(公財)龍河洞保存会</p> <p>◎・(株)龍河洞みらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍河洞エリア活性化協議会 ・香美市 | <p>[指標]</p> <p>観光客入込数</p> <p>出発点 (R元) : 12.6万人</p> <p>到達目標 (R2) : 13.5万人</p> <p>目標 (R5) : 20.0万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>観光客入込数 (R2.12月末) : 7.6万人 (対前年同期比 : 60.4%)</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止のため、4月中旬～5月中旬まで休業したため入込客数が減となった。</p> <p>○基本計画の策定・推進及び施設等の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場周辺整備及び西本洞コース開設に係る施設整備 観光拠点整備事業費補助金 14,518千円 ・老朽化した施設の除却 ・除却後の活用計画の検討(5回)(4/22、5/29、6/23、7/17、9/3) ・除却費用等の予算化(香美市10月) <p>○広報及びPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内旅行代理店や宿泊施設へのセールス活動の実施(1回)(6/3) ・高知空港、JR後免駅、香美市インフォメーションセンター等でわくわくゾーンスタンプラリーのパンフレット配 |

| 項目 | 取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 |
|----|--|
| | <p>布（龍河洞、アンパンマンミュージアム、歴史民俗資料館、アクトランド、西島園芸団地、野市動物公園と共同で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県観光コンベンション協会主催の商談会への参加（10/7） ・高知県内の公立小学校（170校）に遠足・校外学習の案内を送付（10月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大幅に減少した入込客数の回復 ⇒セールス活動の実施、商談会やフェアへの出展 ⇒集客イベント・夜間営業の実施 ・龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞動線・景観整備計画を踏まえた事業推進 ⇒整備事業の予算化及び推進に向け、関係機関と連携した協議・検討 ⇒龍河洞を円滑に運営するための体制と仕組みづくりの強化 |

2 令和2年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

| 取り組み | 事業概要 | 総事業費(補助金額) |
|--|--|---------------------------------|
| <p>■No. 11 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進（南国市・香南市） 4/23 交付決定</p> | <p>ワイン醸造施設の建設による、ブドウの栽培からワインの醸造、出荷までの一貫した生産体制の確立</p> | <p>223,487千円 (50,000千円)</p> |

3 県民参画に向けた取り組み

- ・関連事業者等に対する新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインや支援策の周知
- ・管内事業者への HACCP 研修の実施による食品衛生法の改正等の周知

4 相談案件：5件

| NO. | 相談日 | 事業種別 | 相談内容 |
|-----|-------|-------|-----------------------------|
| 1 | 7/6 | 食品加工 | 南国市で、加工場の県版 HACCP 認証を取得したい |
| 2 | 7/22 | 食品加工 | 南国市で、地元の野菜と果物を使ったソースの開発をしたい |
| 3 | 8/11 | 農業 | 香美市で、加工場の増設に係る候補地を探したい |
| 4 | 10/27 | 農業 | 香南市で、栽培する果実の出荷場を整備したい |
| 5 | 11/4 | 飲料品加工 | 香美市で、工場の増設に係る候補地を探したい |